

## 維新は「第三極」か 異議あり

公務員 平井 一成

(滋賀県東近江市 56)

結党時に掲げた「企業・団体献金の禁止」を撤回した日本維新の会。看板の「原発ゼロ」政策も太陽の党が合流するのに合わせて変更し、29日発表した政権公約では「フェードアウト(消えていく)」という表現になったようだ。環太平洋経済連携協定(TPP)への対応もあいまい。さらに「自主憲法制定」まで盛り込んだ。朝令暮改とも言える。党是とも言うべき主張を簡単に変えたのだから、やはり「野合」ではないか。選挙後には何を交えるか分かったものではない。

尖閣諸島を国有化する端緒と

なる行動を起して日中関係を悪化させた上、任期途中で東京都知事職を投げ出した維新の会代表、石原慎太郎氏。大阪府知事から大阪市長にくら替えしながら市政そっちのけの代表代行、橋下徹市長。2人の行動や地方自治について2都市の有権者はどう考えているのだろう。

また国民の生活が第一の小沢一郎代表を批判してきたマスコミは、政治的には毀誉褒貶が相半ばする両氏にあえて焦点を当てているように私は思う。それなりに実績があった民主党ですら今日の国政混乱を招いた。まだ何の実績もなく、自民や民主と大差のない維新をなぜ「第三極」と呼ぶのか。異議ありだ。

## 「卒原発」で命の水守りたい

無職 津田 泰正

(滋賀県草津市 61)

琵琶湖と共に暮らす滋賀県民は6年前、環境問題を訴えた嘉田由紀子知事を誕生させました。そして3・11で、原発問題は同時に近畿1500万人の命の水、琵琶湖の汚染問題に直結すると思われ知りました。

知事として嘉田さんが「卒原発」を訴える気持ち、国政の大きな壁にぶつかったことも理解できます。

今回の嘉田さんの「日本未来の党」は、同じ思いを持つ有権者の受け皿となる

でしょう。私は高く評価します。新党を政争の具とするような報道もあります

が、政治への絶望をどこかで断ち切らなければ日本は本当に危険な方向へ進んでいきます。

何かというと選挙目当てのパフォーマンスだと批判される昨今ですが、大切なのは私たち有権者がしっかりと自分の頭で考え、判断することです。政治を面白おかしく揶揄するのは、真の批判とは似て非なるものです。未来への意志をしっかりと育てたいです。

## 自民党の原発公約目を疑う

主婦 梅田 啓子

(千葉県我孫子市 62)

「今すぐ結婚してくれ。将来のことは3年以内に結論を指すから」。こうプロポーズされて、はいと答える人がいるだろうか。結論を出すのではなく、結論を指すというのだ。一仲のいい夫婦を指したけれどもできなかった」と3年後の言い訳まで考えている。

発表された自民党の公約に目を疑った。「原発再稼働の可否は全原発で3年以内の結論を指す」。3年以内に福島第一原発のよう

な事故が起らないという保証はどこにもない。結論の自身が全く見えず、3年以内に結論を出すか出さないかさわからない公約でも有権者は票を入れると思

っているのか。自民党は昨年の原発事故以後、原発に対する党としての責任や見解を公表して

いないと思う。放射性廃棄物の問題を含む今後の原発・エネルギー政策を具体的に打ち出す責任があるのではないか。原発事故が風化することのないようしっかりと公約を見極めていこう。